

理数科海外研修（シンガポール）

10月28日（日）～11月1日（木）の間、2年理数科の生徒40名が、シンガポールへ海外研修に行きました。海外研修は、国際性を育成するための事業の柱となる行事のひとつであり、自然と科学の共生について考え自然科学における自己学習力を養うとともに、異文化に対する理解を深め、英語に対する学習意欲とコミュニケーション能力を養うことを目的としています。主な内容としては、シンガポール国立大学での学生との交流、SEAアクアリウムでの海洋生物についての研修、シンガポール植物園とガーデンズ・バイ・ザ・ベイでの自然学習、マリーナバラージでの環境学習、ジョホールバル（マレーシア）の高校生との異文化交流です。また、全員そろってのホテルでの食事を極力減らし、自由食を増やすことで英語に親しむ機会を増やしています。

初日は終日移動でした。2日目はSEAアクアリウム、マリーナバラージ、サイエンスセンターを訪れました。SEAアクアリウムでは海洋生物についての講義を聴いた後、イルカに触れることができました。まだ、英語に慣れていないせいか、講義や説明をうまく聞き取れない生徒も若干いたようですが、ゆっくりと話していただいたので多くの生徒がしっかりと学習することができました。マリーナバラージでは、シンガポールの水事情を学びました。日本とは全く異なる水事情に多くの生徒はびっくりしていました。サイエンスセンターでは、科学と芸術の融合など、多くの生徒が科学に対する新たな視点を得られました。

3日目はシンガポール国立大学、シンガポール植物園を訪れた後、市内班別行動を行いました。シンガポール国立大学では、各自が取り組んでいる課題研究の内容や得られたデータを紹介したり、研究内容について大学生からアドバイスをもらったりしました。大学生からのアドバイスにはとても鋭いものもあり、まだまだ研究内容を深められていないことに気づかされたり、今後の実験を行っていくのに有益なアイデアをいただいたりして、とても有意義な時間を過ごすことができました。

4日目は、ジョホールバルで学校交流を行ったあと、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイへ行きました。学校交流では、緊張して積極的に話しかけることができない生徒もいましたが、マレーシアの高校生から積極的に話しかけてく

れ、徐々に会話も弾むようになり、交流を深めることができました。この日の、深夜発の飛行機で機中泊をして日本へ戻ってきました。

以下は生徒の感想です。

- ・科学的な施設をたくさん訪れて、科学への興味関心が高まった。
- ・課題研究のアドバイスをいただいたので、そのアドバイスに沿って研究を進めていきたい。
- ・英語で話さなければいけない環境で数日過ごし、もっとスムーズに話せるようになりたいと思った。
- ・英語に対する興味がわき、また海外に行きたいと思った。
- ・英語圏の人と意思疎通するには、今よりもっと語学力が必要だと実感し、英語学習への意欲が高まった。
- ・海外でも食事をする自信がついた。
- ・自由食が多かったので、様々な食事を楽しめたとし、食文化がわかってよかった。
- ・学校交流はこのような機会でないとは経験できないので、とても有意義だった。



成田空港にて



マーライオン前広場



マリーナバレッジ



ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ



大学生とのディスカッション



大学生とのディスカッション



学校交流



学校交流